

THIRDWAVE製デスクトップパソコン共通

各部の名称と接続方法

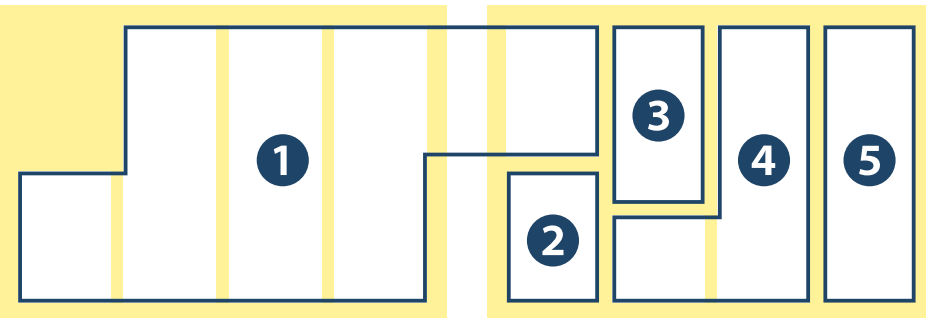
本編の構成

掲載位置は
下図の番号で
ご確認ください

- 1 各部の名称と接続方法
- 2 PC設置時によくあるお問い合わせ一覧
- 3 電源を入れる・電源を切る
- 4 パソコンのカバーの開け方
- 5 パソコンの清掃について

<表面>

<裏面>



各部の名称と接続方法

EXケース



ヘッドフォン端子
マイク端子
USB Type-C 端子
電源ボタン
リセットボタン
USB3.0 端子

GE/GEmケース



USB2.0 端子
パワー LED
電源ボタン
USB3.0 端子
USB Type-C 端子
フロントサウンド
入出力端子

*GE：ケースの色はガンメタリック、黒、白 (Gaming Ver.)、白 (Creator Ver.) があります
*GEm：ケースの色はガンメタリック、白 (Gaming Ver.) があります

SF/SFmケース

*SF/SFm：各ケースの色は黒と白とがあります



USB2.0 端子
USB3.0 端子
USB Type-C 端子
フロントサウンド入出力端子
ケース LED 制御ボタン
パワーランプ
ストレージアクセランプ
電源ボタン

X3-03ケース

*ケースの色は黒と白とがあります



フロントサウンド 入出力端子
USB3.0 端子
リセットボタン
電源ボタン
パワー LED
ストレージ
アクセランプ

4Cケース



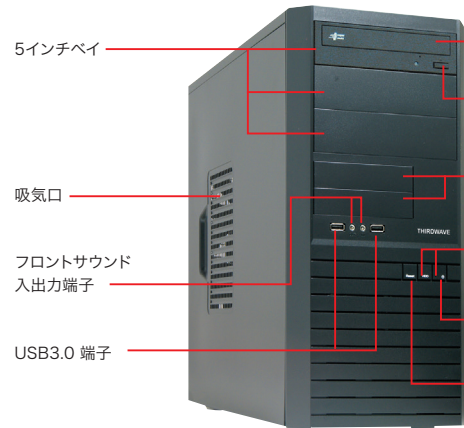
電源スイッチ
パワーランプ
USB3.0 端子
フロントサウンド
入出力端子

4CMケース



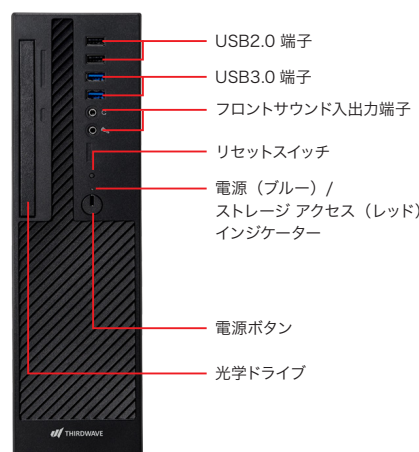
USB Type-C 端子
電源スイッチ
パワーランプ
USB3.0 端子
フロントサウンド
入出力端子

EA041ミドルタワー/EM041ミニタワーケース



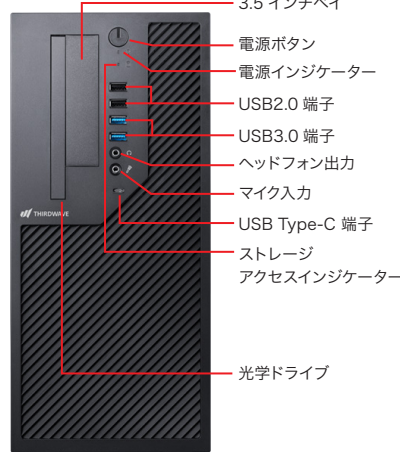
5インチベイ
吸気口
フロントサウンド
入出力端子
USB3.0 端子
光学ドライブ
イジェクトボタン
3.5インチベイ
パワーランプ
ストレージアクセランプ
電源ボタン
リセットボタン

CK722スリムケース



USB2.0 端子
USB3.0 端子
フロントサウンド入出力端子
リセットスイッチ
電源 (ブルー) /
ストレージ アクセス (レッド)
インジケーター
電源ボタン
光学ドライブ

CPSスリムケース



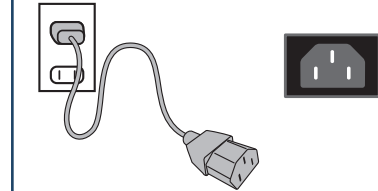
3.5 インチベイ
電源ボタン
電源インジケーター
USB2.0 端子
USB3.0 端子
ヘッドフォン出力
マイク入力
USB Type-C 端子
ストレージ
アクセスインジケーター
光学ドライブ

本体背面の名称・接続方法

各コネクタと端子の接続方法を説明します。
下記の順番で接続してください。

- 1 ディスプレイケーブルを接続する
- 2 キーボード・マウス (機器) を接続する
- 3 ネットワーク機器 (モデム・ルーター) を接続する
- 4 スピーカーを接続する
- 5 電源ケーブルを接続する

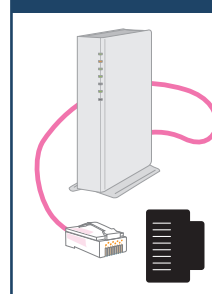
5 電源ケーブルを接続する



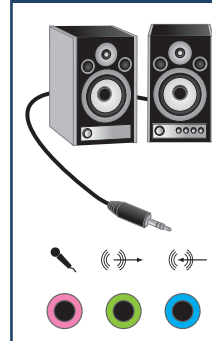
2 キーボード・マウス (機器) を接続する



3 ネットワーク機器 (モデム・ルーター) を接続する



4 スピーカーを接続する



1 ディスプレイケーブルを接続する

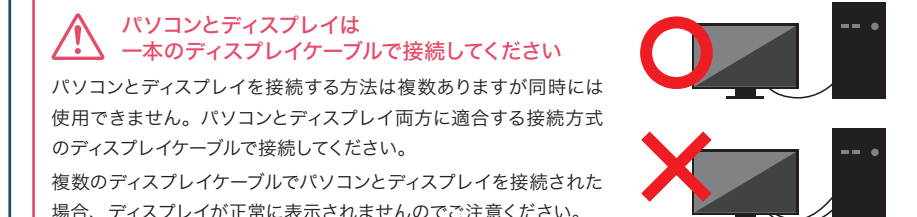
ビデオカード搭載 パソコンは黄色エリアへ



ビデオカード非搭載 パソコンは青色エリアへ



※コネクタには向きがありますので、注意して取り付けてください。
コネクタに付いているネジを回して固定します。



パソコンとディスプレイは
一本のディスプレイケーブルで接続してください
パソコンとディスプレイを接続する方法は複数ありますが同時に
使用できません。パソコンとディスプレイ両方に適合する接続方式
のディスプレイケーブルで接続してください。
複数のディスプレイケーブルでパソコンとディスプレイを接続された
場合、ディスプレイが正常に表示されませんのでご注意ください。

1 ディスプレイとパソコンを接続する

ディスプレイとパソコンの接続方式はアナログ接続の
[D-Sub15 ピン] やデジタル接続の [DVI] [HDMI] 等があり
ます。接続する際はデジタル接続を優先して使用しまし
ょう。
デジタル接続の方が最大解像度が大きく鮮明な画像で表
示されます。

また、HDMI/DisplayPort接続の場合は同時に音声信号も
出力され、HDMI/DisplayPortの音声入力に対応したスピー
カー搭載ディスプレイを接続すれば、ディスプレイから音声
が出力されます。

※使用できる接続方式は、本体の構成によって異なります。

複数のディスプレイを使用する際に、接続でき
る端子が足りない場合があります。接続端子
が足りない場合には、変換コネクタ/変換
ケーブルを使用して接続することができます。

※変換コネクタは様々な種類があり、コネクタのオス・
メスなどの違いもあります。必要な組み合わせをよく
確認してください。

※パソコンによって接続できるディスプレイの数は決
まっています。接続端子が複数台分あっても同時に
使用できる台数に制限のあるものがあります。
接続できるディスプレイの台数をあらかじめ確認し
ましょう。

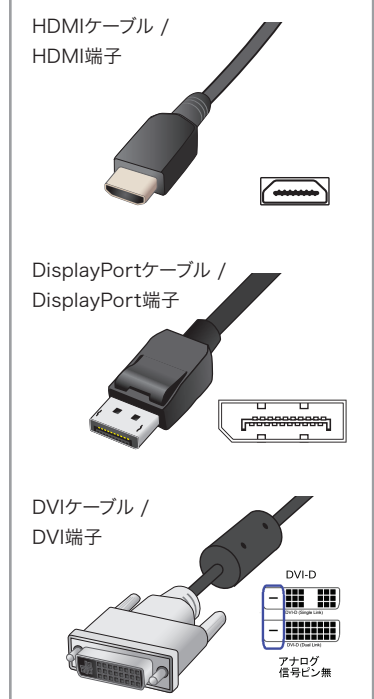
※DVI-D コネクタにD-Sub15 ピン変換ケーブルを接
続することはできません。

DisplayPort オス
DVI-D (シングルリンク)
メス変換ケーブル

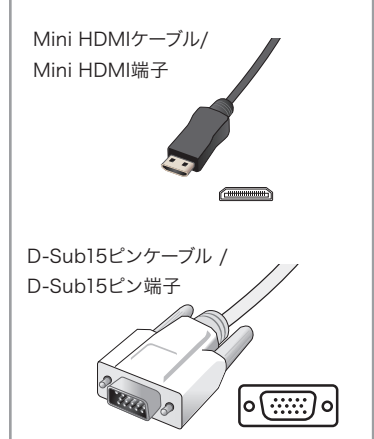
DisplayPort-HDMI変換ケーブル

HDMI-DVI 変換ケーブル

パソコンの主な接続方式



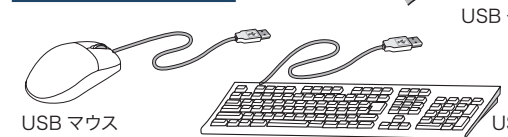
その他の接続方式



2 キーボード・マウス (USB機器) を接続する(I/Oパネルエリア)

パソコンを操作するためにキーボード・マウスを接続します。

USB ケーブルを
USB 端子に接続する

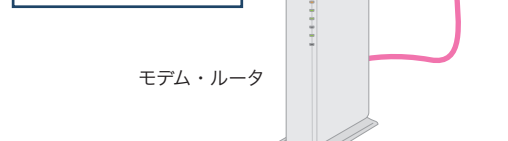


キーボード・マウスがPS/2変換に対応する場合は、USBからPS/2に変換
するプラグを使用すると、こちらのPS/2コネクタでマウスまたはキーボード
を使用することができます。

3 ネットワークへ接続する(I/Oパネルエリア)

インターネットに接続するためにネットワーク機器を接続します。

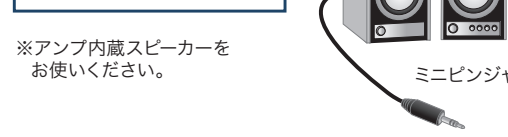
LAN ケーブルを
LAN 端子に接続する



4 スピーカーを接続する(I/Oパネルエリア)

サウンド出力するためにスピーカーを接続します。

スピーカーのケーブルを
スピーカー端子へ接続する



※アンプ内蔵スピーカーを
お使いください。

USBスピーカーをご利用
になる場合はUSB端子
へ接続してください。

パソコン本体前面にもコネクタがある場合前面と背面のいずれか片方しか使用できません。音が出ない
場合には、片方のみで接続してください。

5 電源ケーブルを接続する（電源エリア）

電源を供給するためにコンセントへ接続します。

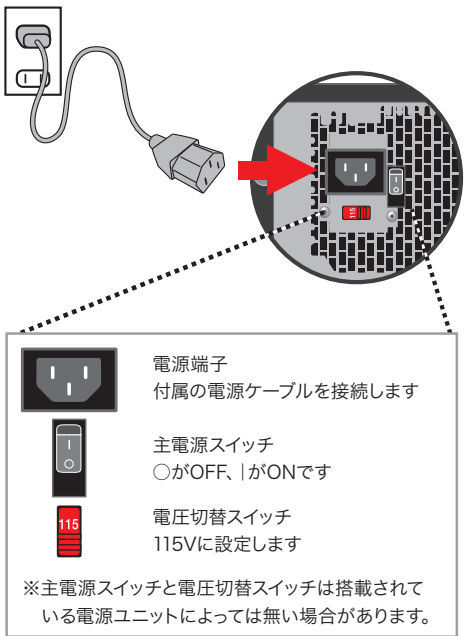
1 電圧切換スイッチが115V 側になっていることを確認します

230V 側になっている場合はスライドさせ、必ず115V 側に設定してください。

電源スイッチは、接続がすべて完了するまでOFF（「○」印がある側）にしておきます。接続がすべて完了したあとにON（「|」印がある側）にしてください。

2 電源端子に電源ケーブルを接続する向きを合わせて取り付けください

反対側のプラグは家庭用電源コンセントに接続します。



製品に同梱されている電源ケーブルをご利用ください

同梱されている電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

タコ足配線は発熱・火災の原因となったり、電力の供給不足からパソコンの動作が不安定になる場合がありますので、家庭用電源コンセントから直接電源をお取りくださいますようお願いします。



セットアップや Windows 大型アップデートを行う際は、それらが失敗することを防ぐため、パーツの新規増設や周辺機器の接続を行わないでください。

特に、USB接続のカードリーダー/ライター、ハードディスク、SSD は接続しないでください。

PC 設置時によくあるお問い合わせ一覧

THIRDWAVE・Diginnos・Prime /パソコンの機器構成について



電源環境が原因でおこるパソコンの動作不具合と対処方法



ディスプレイから出ているケーブルとコネクタ形状が合わず、接続できない



ディスプレイ（モニター）に「Out of Range」などのエラーメッセージが表示される場合の対処方法



デスクトップパソコン開梱時にキーボードが見つからない時の確認事項



Windows 起動画面の後、サインイン画面やデスクトップが正常に表示しない場合の対処方法



パソコンでイヤホンを使用する時の注意事項について



デスクトップパソコンの電源を入れても画面が表示されない場合の対処方法



パソコンの音が出ない場合の対処方法



Windows のプロダクトキーを入力しても再入力求められた際の改善方法



USB 機器（デバイス）が使用できなくなった場合の対処方法



COAラベル（プロダクトキー）が添付されていないパソコンについて



テレビをパソコンのディスプレイ（モニター）として使用する方法について



サードウェーブ製 PC 用オプション無線 LAN（Wi-Fi）機器のアンテナ取り付け、およびドライバダウンロード



電源を入れる・電源を切る

パソコンの電源の入れ方

1 ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます

2 パソコンの背面にある主電源スイッチをオン（|）にします

3 パソコンの電源スイッチを押して電源を入れます

4 起動すると画面にメーカーのロゴ画面が表示されインストールされている OS が起動します

2 主電源スイッチ

3 電源スイッチ

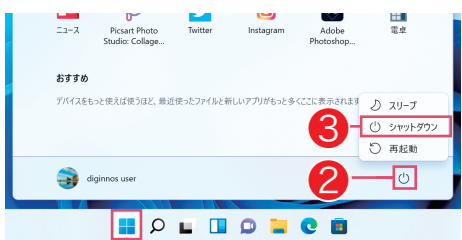
初めて起動する際はOSのセットアップを行う必要があります。

電源の切り方（シャットダウン方法）

1 [Windows] をクリックしてスタートメニューを開きます

2 [電源] をクリックして終了方法を表示します

3 [シャットダウン] をクリックして終了します



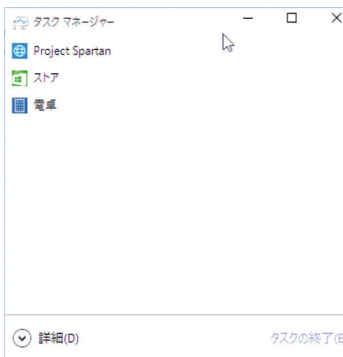
Windowsがフリーズして終了操作ができないときはタスクマネージャーでフリーズしているアプリを強制終了します

1 キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します

2 指定のアプリのタスクを終了します

動作の止まってしまったアプリなどを指定して、[タスクの終了] をクリックすると、そのアプリを強制的に終了させることができます。

※ タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。



パソコンのサイドパネルの開け方

パソコン内部の作業をする場合



ケース背面や内部には、鋭利な箇所が点在します。作業を行う際は、怪我をしないよう、必ず防護用手袋を着用しましょう。

- 内部電子部品の破損を防ぐため、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いて半日以上たってから作業を行ってください。
- ケースの角や内部の尖ったところ等だけがをしないよう、必ず防護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 電源を切った直後はパソコン内部に高温になっているパーツがあるため、十分冷めてから作業を行ってください。
- 内部電子部品の破損を防ぐため、ケースなどの金属部分に手を触れて、静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- 金属の接点部分には触れないようにしてください。皮脂等が付着することにより、接触不良の原因となります。
- 作業中は電子部品の破損しないよう、注意して作業を行ってください。どんなに小さな部品でも破損すると作動しません。
- 一度に複数の増設は行わず、一つずつ行ってください。



パソコンの保証について

パソコンの保証は、通常・延長保証に関わらずご購入時の構成であることを原則としております。お客様側で内部構成の変更をされた状態では弊社保証適用対象外となります。検証修理をご用命の際には、ご購入時の構成に戻したうえでご依頼ください。



増設・交換作業中の手違いや過失でパーツやパソコン本体が故障してしまった場合は保証対象外となります。自分ではできないと感じたら、無理をせずにお買い上げいただいたドスパラ店舗、またはコールセンターまでご相談ください。

EXケースのサイドパネルの開け方

※左右両面のカバーを開ける作業もあります。開け方の手順は同じです

1 パソコンの側面から外したい側のネジを8本外します

2 ガラスパネルをゆっくり丁寧に矢印方向に持ち上げるように外します



両側面はガラスです。外す時はガラスを破損しないよう十分にご注意ください



SF/SFmケース、X3-03ケースのサイドパネルの開け方（例）SF/SFmケース

※左右両面のカバーを開ける作業もあります。開け方の手順は同じです

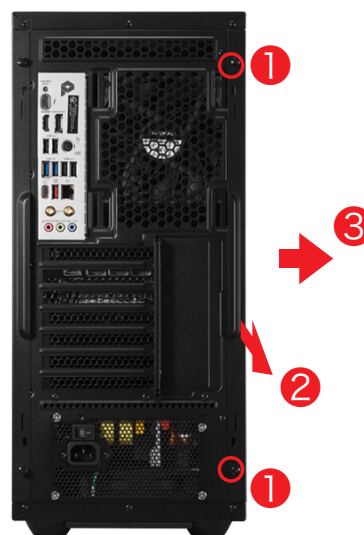
1 パソコンの背面からパネルを外したい側のネジを2本外します

2 背面方向にパネルをスライドさせます

3 スライドさせたパネルをゆっくり外側に外します



正面から見て左側面はガラスです。外す時はガラスを破損しないよう十分にご注意ください



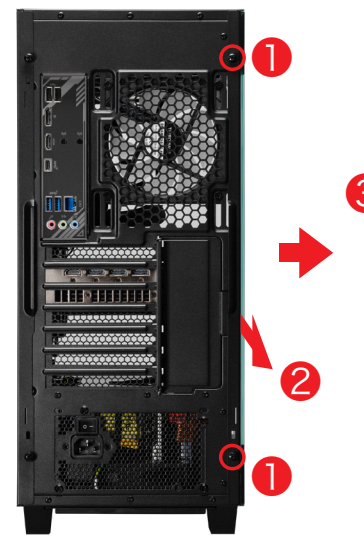
GE/GEmケース、4Cケース、4CMケース、EA041ミドルタワー/EM041ミニタワーケース、CK722スリムケース、CPSスリムケース のサイドパネルの開け方（例）GE/GEmケース

※左右両面のカバーを開ける作業もあります。開け方の手順は同じです

1 パソコンの背面からパネルを外したい側のネジを2本外します

2 背面方向にパネルをスライドさせます

3 スライドさせたパネルをゆっくり外側に外します



パソコンの清掃について

パソコンを使用していると、空気中のホコリがパソコン内部に侵入して、ファンや基板上に付着していきます。そのままの状態でご利用された場合、ヒートシンク（放熱板）のフィン（羽）の隙間にホコリがたまってエアフロー（空気の流れ）が邪魔されてしまい冷却を妨げたり、ファンにホコリが絡まることで、ひどい場合には熱で部品を破損してしまう場合もあります。また、ホコリと湿気の組合せは回路がショートする原因にもなりますので、定期的にはパソコンを清掃しましょう。

ご自身でパソコン内部に触った経験がない方はサードウェーブサポートセンターにて有償クリーニングを承ります。詳しくは下記のURL、サードウェーブサポートセンターまでご相談ください。

<http://www.dospara.co.jp/cln>



作業中のミスなどでパーツやパソコン本体が壊れてしまった場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。自分ではできないと感じたら、無理をせずにサードウェーブサポートセンターまでご相談ください。

パソコン内部の作業をする場合

- 大切なデータなどは、作業開始前にバックアップをお取りください。
- パソコンを終了して、電源を切ってください。その後、接続されている周辺機器やケーブルを全て取り外してください。
- 内部の温度が下がるまで放置してください。（約15～30分）
- 体内に溜まった静電気で故障させないよう、作業を行う前に金属（ドアノブなど）に触れてください。
- 前項「パソコンのカバーの開け方」を参照し、カバーを開けてください。
- 清掃の際にエアスプレーでホコリを吹き飛ばすと、周囲や空気が汚れます。マスクを付けて、換気の整った場所で実施しましょう。

外装の清掃

パソコンの外装の汚れは、中性洗剤を希釈した水を染み込ませた柔らかい布をよく絞り拭き取ってください。

キーボード、マウスの外装も同様に行ってください。カードリーダーのスロットは、ホコリがたまりますので、エアスプレーで吹き飛ばしてください。



エタノール、ベンジン、シンナーなどで拭かないでください。製品の変質や塗装が剥げる原因となります。



電源ケーブルの清掃

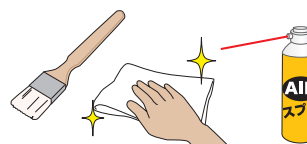
ホコリなどは定期的に取り除いてください。

電源プラグやコンセントにホコリがたまると、火災の原因となります。



吸気・排気口（メッシュ部分）の清掃

パソコンは前面や側面から吸気し、背面から排気します。そのため、吸気・排気口のメッシュ部分にホコリがたまります。乾いた柔らかい布で取り除いたり、エアスプレーで吹き飛ばしてください。毛先の柔らかい「はけ」などを使うのも効果的です。

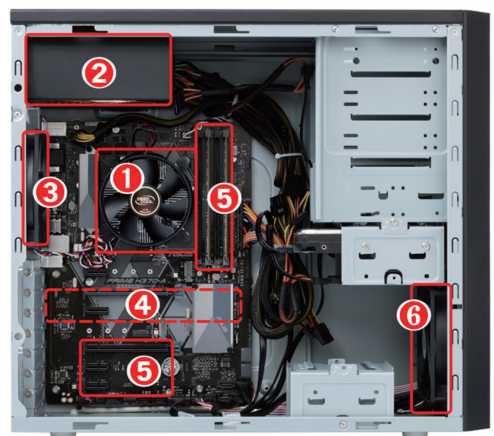


ケース内部の清掃

パソコン内部はファンから吸気を行うため、ホコリがたまります。たまっているホコリはエアスプレーで吹き飛ばして清掃します。特に下記の部分にホコリがたまりますので注意してください。

- ①CPUファン
- ②電源
- ③ケースファン
- ④ビデオカードファン
- ⑤メモリー・PCIスロット
- ⑥フロントパネル側の吸気口

清掃の際にビデオカードの取り外しが必要な場合はFAQ「ビデオカードの交換方法」をご参照ください。



ケーブルやパーツを外す前に、デジタルカメラなどで撮影しておく、接続する時の参考になります。



ホコリが多くなっている場合、吹き飛ばしたホコリがファンに絡まり動作を妨げる場合があります。絡まってしまった場合は綿棒や爪楊枝などで取り除いてください。エアスプレーの清掃を行う場合、指などでファンを押さえて回転しない状態で清掃してください。ファンを空回りさせると、破損の原因となります。



内部清掃を行うとケーブルやカードの接続が緩んでしまう場合がありますので、作業後はケーブルやビデオカード、メモリーなどが緩んでいないか確認してください。また、電源を入れた際に起動しない等の不具合が発生した場合は、内部の接続を再確認してください。確認しても改善されない場合は、サードウェーブサポートセンターまでご相談ください。